

と おかまち

Public Relations

市報



2013
7/10

平成25年 7月10日号

No.199

特集

アートを道しるべに 里山を巡る夏がやってくる

(25ページ)

主な内容

ピックアップニュース

- 6 ●中心市街地活性化基本計画の紹介①
- 8 ●にいがたで「暮らす・働く」応援プロジェクト
- 9 ●第19回 十日町彫シンポジウム
- 10 ●国民健康保険のお知らせ
- 12 ●後期高齢者医療制度のお知らせ
- 13 ●つながる小学校中学校①

連載コーナー①

昭和のとおかまち／元気予報／キラメキワークーズ
タウントピックス

お知らせ・ガイド

連載コーナー②

熱中・夢中／和顔愛語／イクメンカジダン
ジュニア芸術祭

世界にたった一つだけの 織物に挑戦!

6月30日(日)開催の、大地の芸術祭関連イベント「かまわぬ織り」ワークショップ。縦の糸に、「横糸」としてビニールや紙切れ、人形など何でも折り込み、世界でたった一つの織物が出来上がりました。



Photo by 小沢芳彦

おおたか静流 大博覧会
～シズリンのユートピア～

絵本と
木の葉の
美術館
鉢



■入館料：700円、小・中学生300円（夏の作品鑑賞パスポート提示で無料）



山口ともの廃材打楽器ワークショップ

8月16日(金)午後1時30分～※要予約

身近なものを楽しみ楽器に大変身させます。

■料金：1,000円、小・中学生500円（夏の作品鑑賞パスポート提示で大人200円、小・中学生100円引き※美術館への入館料別途要）

BACCA * GOHGI (ばっかごーぎ) な音楽会と鉢の盆踊りへこらっしゃいっ

8月17日(土)午後4時～※3時30分開場

日本・東ティモール外交関係樹立10周年記念で組まれたスペシャルトリオ山口とも(打楽器奏者) × おおたか静流(ヴォイス) × 向島ゆり子(ヴァイオリン・ヴィオラ奏者)によるボーダーレスな音の世界に包まれるライブ。音楽会の後は鉢集落の盆踊り(午後6時～)もあり。ばっかごーぎは地域の方言で「ものすごい」の意。[チケット：セブンコード024-393]

シズリンといっしょに竜宮城ツアー

8月18日(日)・31日(土)午後1時30分～※要予約

おおたか静流の体験型ギャラリートーク。

■料金：1,000円、小・中学生500円（夏の作品鑑賞パスポート提示で大人200円、小・中学生100円引き※美術館への入館料別途要）

次のページもあるよ



シズリンの「声のお絵かき」ワークショップ

9月8日(日)午後1時30分～※要予約

おおたか静流によるワークショップ。空中に描く花火のような、心に残る「声のお絵かき」に挑戦しましょう。

■料金：1,000円、小・中学生500円（美術館への入館料別途要）

にはチケットが必要です

■チケット料金：1,500円（当日2,000円）、小・中学生500円（当日800円）※夏の作品鑑賞パスポート提示で、当日でも前売価格で鑑賞可

■販売場所：越後妻有里山現代美術館[キナール]、まつだい「農舞台」、本町分庁舎など※セブンチケット、越後妻有オンラインショップ(www.tsumari-shop.jp)でも購入可

夏の作品鑑賞パスポート

●大人2,000円（地元500円引き）
●小・中学生500円
※県内小・中学生無料



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD

大地の芸術祭の里 越後妻有2013夏 アートを道しるべに 里山を巡る夏がやってくる

7月20日(土)～9月1日(日) 越後妻有地域 760km² (新潟県十日町市・津南町)

今年の夏の「大地の芸術祭の里」は、特別企画展や関連イベント、ワークショップが目白押しです。夏の作品鑑賞パスポートを手に、人気の空家・廃校作品や屋外作品を道しるべに里山を巡りましょう。

●問合せ
大地の芸術祭の里総合案内所 ☎761-7767

パスポートを持って出発!



まつだい「農舞台」



サンプル「遠足の練習」

8月10日(土)午後7時～8時※開場6時30分～

行方不明の父を探す娘は、いくつかの手がかりを頼りに奇妙な世界へ足を踏み入れて行く…。住民とワークショップを重ねながら創作する演劇作品。[チケット：セブンコード024-391]



里山の限界芸術 vol.4 せっぷくぴすとるず「野良着で逆襲！」展

音楽や衣服、農業など、幅広い分野で活動を繰り広げている切腹ピストルズが愛用する「野良着」と、そのカッコいい着こなしを紹介。



■アーティストトーク(落語ほか)：8月15日(木)・16日(金)午後1時30分～、17日(土)、9月22日(日)、10月6日(日)・20日(日)※時間未定、

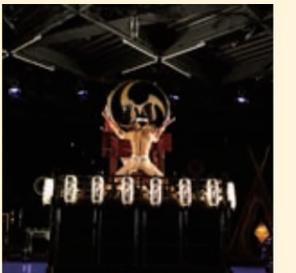
■演奏&練り歩き：7月20日(土)、8月17日(土)、9月8日(日)・22日(日)、10月19日(土)※時間未定

■入館料：600円、小・中学生300円（夏の作品鑑賞パスポート提示で無料）

鬼太鼓座～ミュージック&リズムス・響かせよう日本列島～

8月18日(日)午後6時30分～8時※開場6時～

「走楽論」を哲学とする鬼太鼓座の、正確無比なリズムと打点、その迫力あるパフォーマンスがこの夏も越後妻有で響きわたります。[チケット：セブンコード024-394]



勸緑プロデュース 伝統芸能の底力～朝鮮半島+関西の元気玉公演「北も南もあるもんけ 人情が地球を救う」～

8月24日(土)午後6時～※5時30分開場

韓国の芸能と日本民謡に携わる、在日コリアンと日本人によるコラボレーション・ユニット『遊合芸能 親舊達 チングドゥル』と人形浄瑠璃の人形遣い 勸緑-KANROKU-が迫力の舞台を演じます。[チケット：セブンコード024-395]



文化・芸術を産業、教育、人、暮らしと
連携し次世代に継ぐ

越後妻有アートプロジェクト

「大地を包む」がスタートします

すてきな活動に
なる予感!



「大地を包む」は、衣服造形家の真田岳彦さんをプロジェクトディレクターに迎え、5年後、10年後を見据えて実施する長期プロジェクトです。博物館や伝統文化団体と連携をしながら、地場産業との実験的新規商品開発などを視野に入れて取り組みます。越後妻有のアートと風土が織りなす、今までにない地域発信の形づくりを目指します。

【基本テーマ】

- ①越後妻有地域発信の芸術・産業・人・暮らし
- ②次世代に継ぐ教育・伝統・文化
- ③芸術と各領域の連携が産む豊かな暮らしと新たな産業の発展

■会場：越後妻有里山現代美術館 [キナーレ]

①「大地を包む～繊維からの再考」展

■期間：7月20日(土)～10月20日(日)

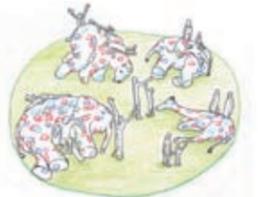


「真田岳彦「大地を包む皮膚」(CGイメージ画)
素材：新潟産米を含有したフィルムシート
柄：十日町文様 からむし唐草13」

②磯崎道佳ワークショップ「ぞうきんぞうたち」

手作りのぞうきんを持ち寄って実物大のぬいぐるみをつくります。

■日時：7月20日(土)
午前11時～※要予約
■料金：無料



シンポジウム

③「大地を包む～芸術と繊維からの展望」

各界の有識者とともに、越後妻有地域で育まれた繊維産業の歩みや特徴を考察し、今後の展望を探ります。

■日時：7月28日(日)午後3時～5時
■料金：1,000円(夏の作品鑑賞パスポート提示で無料)
■出演者：藤巻幸大(参議院議員/ブランディング・プロデューサー) 佐藤友美子(公益財団法人サントリー文化財団 上席研究フェロー)、真田岳彦(「大地を包む」プロジェクトディレクター)、北川フラム(大地の芸術祭総合ディレクター)、関口芳史など※敬称略

④いしかわかずはる公開制作!!

企画展参加作家が、作品制作を一般公開。

■日時：8月3日(土)午前10時～
■料金：無料

⑤柳楽晃太郎パフォーマンス 「ギッコンバッタン～世界一の布を織る」

参加者が人間織機となって「織る」体験型パフォーマンス。

■日時：8月17日(土)、18日(日)、9月22日(日)、23日(祝)※時間未定※要予約
■料金：無料



真田岳彦作品関連パフォーマンス

⑥「水と布の詩」

伝統の布制作の過程である「雪さらし」を模したパフォーマンス。

■日時：8月19日(月)(予定)
■出演：学校法人十日町女学園 十日町服飾専門学校 学生

⑦夏の市・手仕事織リカフェ

市内の織物関係の仕事に携わる有志が立ち上げたグループ『手しごと屋』が、絹織物にまつわる品々や、手仕事が光る伝統工芸の数々を展示・販売。越後妻有の織りや繊維に関する手工芸が一堂に会する初めての市。

■日時：9月22日(日)・23日(祝)午前10時～午後4時

三省ハウス ほか

小谷



Photo by Masahiro

越後妻有の林間学校 大地の学びプログラム※要予約

- 料金：1,000円、小・中学生500円(夏の作品鑑賞パスポートで大人200円、小・中学生100円引き)※④のみ1,700円(材料費込)
- 【①スポーツ編】坂口淳さんと「FUN」サッカー
■日時：8月7日(水)午後2時30分～、14日(水)午前9時～
- 【②芸術編】田島征三さんと「デタトコしょうぶ」
■日時：8月8日(木)午後2時～、15日(木)午後1時30分～
- 【③農業編】地元農家の皆さんと「棚田で草刈り」
■日時：8月9日(金)、16日(金)午前9時～11時
- 【④宇宙編】仙台市天文台の皆さんと「望遠鏡をつくろう!」
■日時：8月14日(水)午後1時30分～
- 【⑤宇宙編】仙台市天文台の皆さんと「星空を眺めよう」
■日時：8月15日(木)午後8時～
- 【⑥芸術編】鬼太鼓座と「人と音のワークショップ」
■日時：8月15日(木)午前9時30分～

まつだい 郷土資料館



森繁哉 家劇場「^{かなぎ}巫座の公演：タマシイの生まれる所-家をたたえる歌舞劇」

8月11日(日)午後2時～※開場1時30分～

^{かなぎ}巫座の公演第二弾。東アジアの芸能に通じる日本の身振り舞の数々を、雪深い越後妻有の人々の自然と生活の中から生まれたこの地域ならではの歌と踊りをダンス化した舞台。[チケット：セブンコード024-392]

まつだい 棚田バンク たんぼ 松代 地域

まつだい棚田バンク草刈り

おいしい米作りに欠かせない草刈りで汗を流したら、夜は松代観音祭りで花火鑑賞をしながら夕涼み。

■日時：7月20日(土)午前10時30分～(草刈り)・午後1時30分～(オプション講座)、21日(日)午前10時～(草刈り)

ベリー スプーン ナカゴ グリーン パーク

ワークショップ「世界でひとつだけのジャムをつくろう」+カフェオープン

人気のベリージャムづくり。カフェでドリンクなども楽しめます。

■日時：7月21日(日)～9月1日(日)間の毎週日曜日午前10時～午後4時※ジャムづくりは午後3時まで
■料金：ジャムづくり500円



体験できる
イベントが
いっぱい!

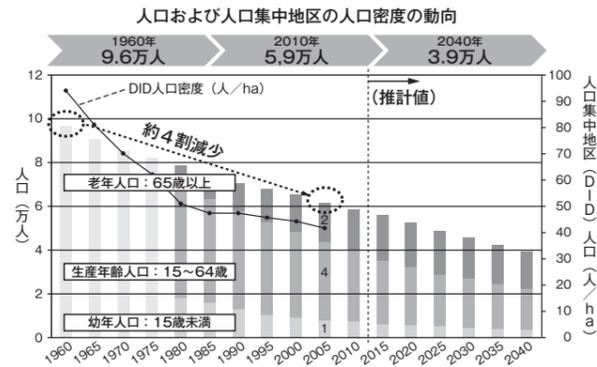
2 わたしたちのまち「十日町市」の現状と将来

全国の多くの都市が危機にひんしている中、十日町市はどのような状態なのでしょう。私たちが住むまち、十日町市の「将来」を分析します。

①30年後の十日町市の人口は4万人を下回ります

市全体の人口は50年前に比べて約4割減少しています。さらに2040年（平成52年）には約3.9万人にまで減少することが予測されています。このまま人口が減少すると、まちの広がりとともに人口密度も低くなります。

このままでは、行政サービスの低下や地域のコミュニティの衰退が懸念されます。



※出典：国勢調査および国立社会保障・人口問題研究所（平成25年3月推計）より国土交通省作成

②中心市街地も少子高齢化は他人事ではありません

中心市街地には準高齢化（55歳以上の人の割合が50%以上）の町内が多くなっています。中心部には55歳以上の人の割合が60%を超える町内もあります。人が減るとともに空き地や空き家が多くなっています。

このままでは、高齢者が多い町内がますます増え、地域維持機能が衰退し、地域住民による見守り、災害時の助け合いの対応などが困難になります。また、空き地や空き家が増えることは、防犯や安全にも不安が多くなります。

〈65歳以上の割合〉

市全体	31.9%
中心市街地	33.0%

※平成24年3月31日 住民基本台帳より

中心市街地は、少子高齢化が市全体より進行しています。

●十日町市中心市街地における行政区別による高齢化分布

55歳以上の人口割合	
50%～60%未満	60%以上



③中心市街地の衰退は「まちの顔」「市民のよりどころ」がなくなることにつながります

中心市街地は、銀行や病院、商店などのまちの魅力が多く集まっているところですが、そのまちの魅力となる商店が年々減っています。

中心市街地は、多くの市民でにぎわう「雪まつり」や「きものまつり」、「おまつり」などが行われるところでもあります。

人や商店が減ることで、まちの魅力と機能が維持できなくなります。中心市街地が衰退することで、市全体の活力・魅力が失われます。

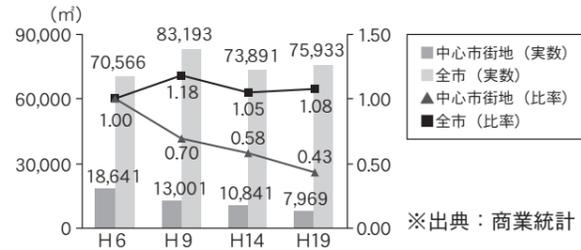
〈中心市街地の店舗面積〉

平成6年	18,641㎡
平成19年	7,969㎡

※出典：商業統計

平成6年の半分以下に減少しています。

●小売業売場面積の推移



私たち誰もが、その生涯を心豊かに過ごしたいと願っています。そして、子どもや孫たちに、豊かに暮らせる環境を残したいと願っています。その願いをかなえ、私たちのまちが、これからも「選ばれて住み継がれるまち」であるためには、具体的に行動をする必要があります。では、中心市街地活性化基本計画を基にどのような行動を起こすべきか、次号以降の市報で3回に分けて考えてみましょう。

3 市全体の活力を失う前に行動を起こしましょう



PickUp 中心市街地活性化基本計画の紹介①

全国の中心市街地を取り巻く環境と、十日町市の実態

問合せ：中心市街地活性化推進室 ☎757-3691

今回、全国の中心市街地を取り巻く環境と十日町市の実態をお伝えします。

紹介します。今回は、全国の中心市街地を取り巻く環境と十日町市の実態をお伝えします。

市報で計画を紹介します

認定された基本計画は、中心市街地に関する人だけではありません。市全体の活性化のための計画です。まちの将来像などを全体で共有するため、これから数回にわたり、本計画を市報で紹介いたします。

「十日町市中心市街地活性化基本計画」が、国の認定を受けました

1 全国の「中心市街地」や「まち」を取り巻く環境

平成25年6月 産業構造審議会中心市街地活性化部会「中心市街地の再活性化に向けて（提言）」より引用

■急速に進む人口減少・高齢化による変化

- ・日常の買い物が不便、医療機関への通院が不便と感じる高齢者が増加しています。
- ・住居や住環境に関する優先度では、「買い物に便利」「医療や介護サービス」を重視する声が上位にあります。

■まちなかの商機能の衰退による買い物弱者の増加

- ・高齢化が進む中で、日常の買い物に不便を感じるいわゆる「買い物弱者」の問題が深刻化しています。
- ・中心市街地の住民に買い物の苦勞が増えた理由として「行きつけの店が閉店した」という回答が、高齢化に起因する「体力的」「車の運転不能」などの回答より遥かに多く、中心市街地における商機能の衰退が進行していることが推測されています。

■拡散したまちのインフラコストの増大

- ・今後、道路や公的施設などの社会資本の更新

現在、全国の多くの中心市街地、地方都市が危機にひんしています。地域住民を支えている「まち」、日本経済の重要な存在である「まち」が、今後も安定的かつ持続的にその機能を維持するためには、今すぐ行動を起こすことが必要です。

に要する費用が著しく増大することに伴い、市民一人あたりの負担も大幅な増加が見込まれます。まちによっては、人口の郊外化により除排雪などにかかるコストも大きな負担となっているとの指摘もあります。

■まちの顔としての中心市街地の重要性

- ・中心市街地外の住民も対象とする調査によれば、中心市街地が必要な理由として「地域の活力や個性を代表するまちの顔であるから」が一番多く、全体の半数近くを占めています。
- ・市民が中心市街地に求めるものは「地域の個性の代表」「地域の顔」といった、地域を対外的に代表する機能、コミュニティの絆を確認するような機能です。つまり住まい手にとって一種のよりどころとして役立つことが示唆されています。

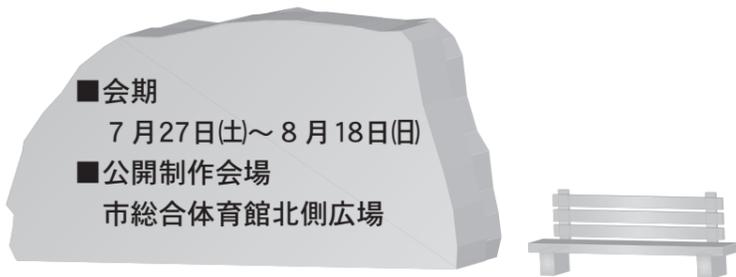
中心市街地活性化の必要性

- ①地域住民の生活にとって必要な機能を効率的に提供する上で、中心市街地が有効です。
- ②地域財政の観点からは、生活に必要な機能を集約する「コンパクトシティ」を実現していくことが求められています。中心市街地を活性化し、それを実現することが有効です。
- ③中心市街地はまちの顔であり、まちの個性の象徴です。つまり、「中心市街地＝まちの品格」なのです。同時に、中心市街地が魅力を取り戻すことで、地域における絆、失われつつあるコミュニティの再生といった目に見えない価値をもたらします。

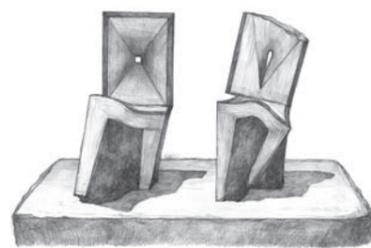
第19回 十日町石彫シンポジウム

●問合せ：生涯学習課（中央公民館内）☎757-8918

真夏の炎天下、今年も3人の石彫作家が公開制作に挑みます。石の塊から芸術作品が生まれる様子をぜひ間近にご覧ください。今回の完成作品3体は十日町駅西、市道西中央通り線の歩道脇に設置する予定です。また、会期中は「作家展」「こども彫刻教室」などの関連イベントも開催されます。ぜひ参加してください。



■会期
7月27日(土)～8月18日(日)
■公開制作会場
市総合体育館北側広場



原 透 「神奈川県厚木市在住」
【作品名】
時間旅行者のために「王と王妃」
【制作意図】
椅子は生活の必需品です。しかし、その椅子が歪んだり、動き出すように変形したらどうでしょう。機能を捨て去った椅子は、人の心を解き放ち、時間旅行へと誘ってくれます。

橋本 恵吏 「名古屋市在住」
【作品名】
夢を紡いで
【制作意図】
人は生活の中で自分の将来や家族、仲間のことなどを考え生きています。楽しい夢を紡ぐ姿を彫刻に表現します。

北島 一夫 「東京都武蔵野市在住」
【作品名】 萌芽
【制作意図】
これまでの創作活動で続けてきたイメージをもとに、縄文の文様を重ねながら、越後の大地に馴染む作品を地元安山岩から生み出します。

関連イベント
【作家展(参加作家による小作品展)】
◆会期 8月1日(木)～18日(日)午前10時～午後7時
◆会場 市総合体育館北側広場(稲荷町3南) ☎757-9262
【こども彫刻教室(ペーパーウェイづくり)】
◆日時 8月3日(土)午前9時30分～11時30分
◆会場 市総合体育館北側広場(シンポジウム会場)
◆参加費 無料
【石彫クリーンアップウォーク(ネーチェススポーツクラブ共催の石彫清掃活動)】
◆日時 8月3日(土)午前6時集合※約2時間
◆集合場所 市総合体育館北側広場(シンポジウム会場)
【オープントークデー&ティータイム】
◆日時 8月3日(土)は終日、制作現場で作家と来場者が気楽に話し合える日です。また、会期中毎日午前10時と午後3時にティータイムが開かれています。

インターンシップ事業受け入れ先を募集

●問合せ・申込先：企画政策課協働推係 ☎757-3693

市では、定住人口の拡大を目的として、インターンシップ事業を実施します。田舎暮らし体験や就業体験にご協力いただけるインターン生の受け入れ先を募集しています。

対象
集落・事業者・法人など

受け入れ期間
7月1日から平成26年3月20日までの間の1か月間
※複数月にわたって受け入れた場合は、通算して概ね1か月となること
※最大で6か月まで延長可能

受け入れ先で用意するもの
インターン生の住居(月額1万5,000円を限度に住居管理人へ住居費を支給します)※インターン生の移動手段を準備してもらった場合があります

受け入れ先への支援
インターン生1人の受け入れにつき5万円を支給

インターン生の募集
新潟県が一括してインターン生の募集を随時行います。

サポート体制
市では、NPO法人十日町地域おこし実行委員会と協働して、受け入れに関する事前説明のほか、インターンシップメニューの作成支援や、インターン生の損害保険への加入、インターン生と受け入れ先との絆づくりをサポートします。

インターンシップメニュー例
①就農体験
②地域の特徴的な産業就業体験(織物など)
③雪像づくりなど雪国での暮らし体験など

受け入れ先の登録・申し込み
受け入れを希望する場合は、上記問合せ先まで受入先調査票(上記問合せ先および各支所地域振興課で配布)を予め提出し、受け入れの1か月前までに連絡してください。

地域おこし協力隊受け入れ先募集

地域おこし協力隊で持続可能な地域づくりを

●問合せ：企画政策課協働推進係 ☎757-3696



池谷集落の皆さん

中山間地の活性化の担い手となり、集落活動を支援する「地域おこし協力隊」と協働して、生まれ育った集落の機能を維持・強化し、持続可能な地域づくりに取り組みませんか。

応募要件
①地域おこし協力隊を必要とする明確な要件があること
②地域おこし協力隊と地域をつなぐ人材(世話役)がいること
③地域で地域おこし協力隊の住居を用意できること

外部人材を活用しながら中山間地を守る

日本の原風景ともいわれる美しい景観や環境保全などの役割を守り、次世代に継承していくためには、中山間地の集落を存続させていくことが重要です。しかしながら、当市の中山間地集落では、過疎・少子高齢化が進み、集落の機能維持が困難となりつつあります。

そこで、「耕作放棄地が年々拡大している」、「集落の機能維持が困難である」などの課題を抱えている集落に対して、平成21年から意欲ある外部人材を「地域おこし協力隊」として誘致しています。現在、16名の隊員が市内で活動しています。

※「地域おこし協力隊」制度について、集落説明にも伺っています。詳しくは問い合わせてください

PickUp 国民健康保険のお知らせ

新しい保険証と平成25年度の納入通知書をお届けします

●問合せ：市民生活課国保係 ☎757-3735

国民健康保険証と高齢受給者証の更新

【新しい保険証を7月22日(月)頃に発送します】

平成25年8月1日から使える新しい国民健康保険証と高齢受給者証(70歳～74歳対象)を、国民健康保険に加入している皆さんへ世帯単位で郵送交付します。また、市外在住で更新手続きが済んでいる学生の保険証も、市内の家族宛てに郵送交付します。

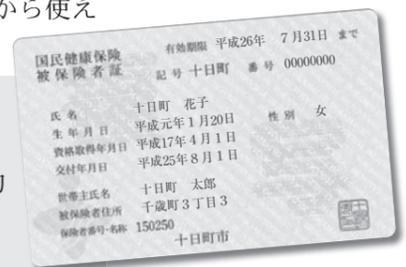
保険証が届いたら、住所・世帯主氏名・被保険者氏名などを確認し、記載事項に誤りがあったときは届け出てください。また、裏面の注意事項を十分確認してください。

※今までの保険証と高齢受給者証は、8月1日から使えなくなりますので、各自で処分してください

【有効期限】

通常の有効期限は平成26年7月31日ですが、年齢によって別の医療制度となる次の人は有効期限が異なります。

- ①平成26年7月31日までに75歳に到達する人
 - ②現在退職者医療制度の適用を受けている人で平成26年7月1日までに65歳に到達する人および被扶養者
- ※有効期限が平成26年7月31日でない人には、期限が切れる前に新しい保険証を送付します



自営業の人や会社をやめた人などが加入する国民健康保険。今年もこの保険証を8月1日から一斉に更新します。また国民健康保険は加入者が納める保険料で運営されていますが、この保険料の今年度の税率を決定しました。詳しくは後段の説明のほか、加入者の皆さんは7月16日(火)に発送される納入通知書でご確認ください。

〈税率表〉

区分	25年度税率
医療給付分	所得割 6.5%
	資産割 5.0%
	均等割 25,000円
	平等割 27,500円
	限度額 510,000円
後期支援分	所得割 1.9%
	均等割 10,500円
	限度額 140,000円
介護納付分	所得割 2.2%
	均等割 17,000円
	限度額 120,000円

※国民健康保険税の軽減制度
所得の低い世帯は国保税が軽減されます。前年の所得状況により、被保険者均等割と世帯別平等割がそれぞれ2割・5割・7割の軽減となります

「国民健康保険」は、病气やけがをしたときに安心して医療を受けることができるよう、加入者が保険税を出し合っただけでなく、高齢化や医療技術の向上などで、医療費は年々増加している、必要な医療を加入者の皆さんに提供するために、安定した財源を確保する必要があります。このことを踏まえ平成25年度の税率は次のとおり、昨年同様の税率としましたのでお知らせします。

国保税は、医療給付分と後期高齢者医療支援分の合計額として算定されます。さらに、40歳から64歳までの人は、介護保険の第2号被保険者として介護納付分を加えた額が年

- ①世帯主が国民健康保険の被保険者であること
- ②世帯内の国民健康保険の被保険者全員が65歳以上75歳未満であること
- ③特別徴収の対象となる年金の年額が18万円以上であること

国民健康保険税の特別徴収(年金天引き)

間の国保税となります。国保税は加入している家族の分を合計して世帯主に通知します。納期限までに納税してください。

次の条件の全てに当てはまる世帯は、原則として世帯主の年金から国保税が天引きで徴収されます。特別徴収が始まる際には、事前に通知します。

り、国保税と介護保険料を合わせて、年金額の2分の1を超えないこと
ただし、年金天引きを希望しない場合は口座振替で納入することもできますので、問い合わせてください。※納付書での納入はできません

国民健康保険税の減免制度

次の理由に該当し、国保税を納付することが著しく困難な世帯は、国保税が減免されます。減免を受けるには、申請書を提出する必要があります。

- ① 震災、風水害、火災その他のほかの災害で住宅や家財などが著しい損害を受けた世帯
- ② 倒産、廃業、休業、失業、疾病その他の理由で所得が著しく減少した世帯
- ③ そのほか、特別の事情があると認められる世帯

なお、減免申請の理由により提出する確認資料がありますので、詳しくは問い合わせてください。

2人暮らしで自営業を営む世帯の場合

- 世帯の中の国保加入者(夫50歳・妻48歳)……………2人
 - 営業所得……………200万円
 - 固定資産税額(土地・家屋)……………45,000円
- 〈医療給付分〉
- ①所得割 (200万円-基礎控除33万円) × 6.5% = 108,550円
 - ②資産割 45,000円 × 5.0% = 2,250円
 - ③均等割 2人 × 25,000円 = 50,000円
 - ④平等割 27,500円
- 合計A (①+②+③+④) = 188,300円 (100円未満切り捨て)
- 〈後期支援分〉
- ①所得割 (200万円-基礎控除33万円) × 1.9% = 31,730円
 - ②均等割 2人 × 10,500円 = 21,000円
- 合計B (①+②) = 52,700円 (100円未満切り捨て)
- 〈介護納付分〉
- ①所得割 (200万円-基礎控除33万円) × 2.2% = 36,740円
 - ②均等割 2人 × 17,000円 = 34,000円
- 合計C (①+②) = 70,700円 (100円未満切り捨て)

世帯の国保税の合計 = A + B + C = 311,700円

国民健康保険税の計算例



年々増えている医療費

昨年度に国保(市+加入者)で医療機関に支払った医療費は49億5,200万円(一昨年度より800万円の増)で、年々増加しています。医療費が増加すると国保税に影響します。市では、各種保健事業で、健康管理や疾病予防対策に積極的に取り組んでいます。が、医療費を抑え、保険税を安くするためには、一人ひとりが健康に気をつけることが大切です。

ジェネリック(後発)医薬品希望カードの配布

医療機関や薬局で処方される薬には、同じ成分・同じ効き目でも価格の安い薬があります。新薬(先発医薬品)に対し、安い薬は「ジェネリック医薬品(後発医薬品)」と呼ばれ、新薬の特許期間が満了した後に、厚生労働省の承認のもとに発売されます。開発コストが抑えられるため、価格が安く設定され、患者の薬代の負担を軽くする薬です。

今回、保険証といっしょに希望カードを配布しますので、ジェネリック医薬品を希望する人は、医療機関や薬局の窓口でカードを提示してください。

ただし、ジェネリック医薬品を使えない場合もありますので、医療機関などで確認してください。



小中一貫教育 つながる 小学校中学校①

“ふるさと十日町市を愛し、自立して社会を生きる子ども”を育む

平成23年度から4つのモデル中学校区で試行を始めた小中一貫教育は、平成26年度から全中学校区で完全実施します。取り組みと成果を報告します。

●問合せ：十日町市教育委員会学校教育課小中一貫教育推進係 ☎757-3336

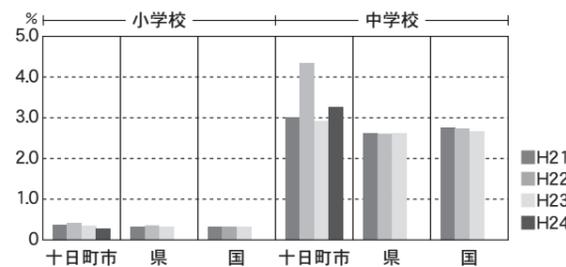
子どもの現状と課題その1

不登校

不登校の割合は、小・中学校ともに、新潟県・全国より高い状況が続いています。その人数は小学校中学年頃から増え始め、中学校入学後に急増します。

子どもたちは今、自立して社会を生きるための、人間性や社会性を身に着ける場を失っています。

●不登校児童・生徒の割合の推移 ※H24年は市の速報値のみ



●平成23年度不登校児童・生徒の割合

区分	小学校	中学校
十日町市	0.34%	2.89%
新潟県	0.33%	2.61%
国	0.33%	2.64%



コーディネーター研修

感(※)、コミュニケーション能力や規範意識などの社会性が育ち、不登校やいじめなどの減少が期待されています。 ※自己有用感・自分の所属する集団の中で、自分の存在価値を自分自身で認識すること

小中一貫教育での取り組み

今を生きる子どもたちのために、豊かな人間性や社会性を育みます。

小中一貫教育では小学校と中学校の教職員が力を合わせ、「9年間」の系統的・継続的な教育を行います。各中学校区で目指す子どもの姿を描き、コーディネーターを中心に、全教職員の共通認識の下、推進会議やプロジェクトチームなどで議論を重ね、さまざまな教育活動を展開します。

9年間を見通し、異なる学年や学校との間で行う児童生徒の多様な交流活動では、よい意味での上下関係が生まれ、自己有用感(※)、コミュニケーション能力や規範意識などの社会性が育ち、不登校やいじめなどの減少が期待されています。



十日町・中条中学校区ではあいさつ運動を実施

モデル中学校区での成果

中学1年生の新たな不登校はありませんでした

モデル中学校区では中学1年生の新たな不登校はなく、また、不登校児童生徒の状況改善が見られ、小中一貫教育の成果がはじまっています。モデル中学校区以外でも、24年度から各中学校区で小中一貫教育のブランドデザインを描き準備を始め、児童・生徒の多様な活動が展開されています。

小中一貫教育では

小学校と中学校、そして学校と保護者・地域がつながり、共に子どもたちを育む教育を目指しています。

後期高齢者医療制度のお知らせ

保険証の一斉更新および平成25年度保険料のお知らせ

●問合せ：市民生活課国保係 ☎757-3735

保険証の更新

現在の保険証(桃色)は、7月31日で有効期限が切れ、8月1日からは新しい保険証(空色)になります。(申請手続き不要)新しい保険証は、7月中旬に送付します。8月になっても届かない場合や、届いた保険証に誤りなどがありましたら連絡してください。

医療費の自己負担割合

毎年、同一世帯の後期高齢者医療制度加入者の前年中の所得に応じて、医療費の自己負担割合を判定します。

新しい保険証に記載されている自己負担割合(1割または3割)は、8月1日から1年間適用となる医療費の自己負担割合です。

【1割負担となる人】

同一世帯の後期高齢者医療制度の加入者の中に、住民税課税所得が145万円以上の所得者がいない人

【3割負担(現役並み所得者)となる人】

同一世帯の後期高齢者医療制度の加入者の中に、住民税

課税所得が145万円以上の所得者がいる人。ただし、次に該当する人は申請により1割負担となります

① 同一世帯に加入者が1人の場合

・ 加入者の収入の合計金額が383万円未満

・ 加入者の収入と同一世帯の70歳未満の全員の収入の合計金額が520万円未満

② 同一世帯に加入者が複数いる場合

・ 加入者全員の収入の合計金額が520万円未満

※扶養控除の見直しにより、前年の12月31日現在において加入者である世帯主で、かつ同一世帯に所得が38万円以下の19歳未満の世帯員がいる場合、その世帯主であつた加入者は、自己負担割合の判定にあつて住民税課税所得から次の金額を控除します

① 16歳未満の者の人数×33万円

② 16歳以上19歳未満の者の人数×12万円

平成25年度の保険料

該当者には、7月16日(火)以降に年間保険料額の通知書を発送します。

① 保険料額の計算方法

均等割額と所得割額の合計が年間保険料額となります(賦課限度額は55万円)

【均等割額】1人あたり年間35,300円

【所得割額】料率は7.15%で、前年中の所得金額などを基に算定

② 保険料の軽減制度

○低所得者への軽減
前年中の所得状況に応じて保険料が軽減されます。

【均等割額】世帯の所得状況に応じて9割、8.5割、5割、2割を軽減

【所得割額】個人の所得状況に応じて、5割軽減

○制度加入前日において会社の健康保険などの被扶養者であつた人への軽減

加入から当分の間は保険料が軽減されます。

※国保や国保組合の加入者が異動した場合は対象外

■ 4月の年金から既に納めている人【特別徴収】

10・12・2月の納付額…確定した年間保険料額から、4・6・8月の納付額を差し引いた残額を10・12・2月の年金から納めてもらいます

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
年金	—	年金	—	年金	—	年金	—	年金	—	年金	—

■ 7月から納付書または口座振替で納める人【普通徴収】

確定した年間保険料額を、7月から翌年の3月に分けて納めてもらいます。月々の保険料額は、通知書で確認してください。※年度途中で特別徴収に切り替わるときは、事前に通知します

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
納付なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
納付書または口座振替											

■ 納入方法の変更：保険料は、原則として特別徴収ですが、口座振替(普通徴収)に変更することができます。希望する場合は、市内の金融機関窓口で手続き後、申し出てください

【申請に必要なもの】 口座振替依頼書の控え・印鑑・保険証

家族の口座からの納付に変更した場合は、社会保険料控除が実際に負担した人に適用され、世帯全体の所得税や住民税の税額に影響が生じる場合があります。

保険料の納付方法



山本 千里さん (小出・26歳)

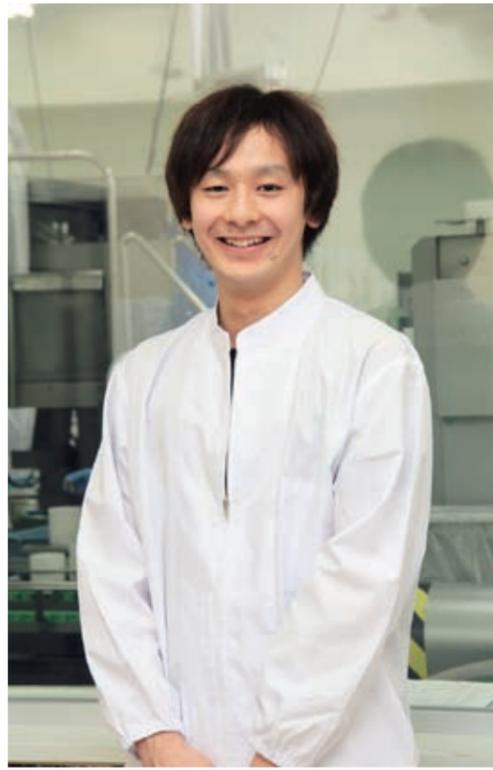
新潟市の専門学校卒業後、地元就職を希望し入社。品質管理の担当で、1施設に1人しかいない業務を任されています。

若者×若者

キラメキワーカーズ

語る 仕事・会社・十日町市への思い

十日町市の仕事人



山口 恭平さん (下条中央通り・21歳)

高校卒業後に就職。15人程度で商品をパッケージングする製造ラインを正社員2人で管理しています。

■問合せ

産業政策課

☎757-3139

昭和とおかまち

No.52

■撮影時期：昭和40年

■撮影場所：松代本町通り

松代本町通りを練り歩く大名行列。松代地域の伝統的な祭り、松代観音祭の一コマです。露払いや毛槍、金紋先箱に腰元など木装も行列の構成も本格的なものでした。

現在は大名行列の代わりに世田谷区からやってくるサンパチームが祭りを盛り上げてくれます。今年は7月20日・21日に開催されます。



松代観音祭の風景

■問合せ：松代支所地域振興課 ☎597-2220

元気予報



骨粗しょう症を防ごう！

あなたの骨は大丈夫ですか？
●骨粗しょう症とは
骨は皮膚や髪の毛と同じように新陳代謝を繰り返しています。この代謝のバランスが崩れ、骨が軽石のようにスカスカになり、骨折しやすい状態になることを骨粗しょう症といいます。

●骨粗しょう症になりやすい人は？
【体型・体質】小柄、やせすぎ、筋肉が少ないなど

【生活習慣】運動不足、過度の飲酒、喫煙習慣、極端な食事制限、カルシウム摂取不足など

【年齢・性別】高齢者、更年期または無月経・生理不順の女性など
【病歴】関節リウマチ、糖尿病、副甲状腺機能亢進症などの病気、ステロイドを服薬しているなど

問合せ 健康支援課成人保健係 TEL757-9764

●加齢による骨量の変化
骨量は20歳から30歳代に最大骨量となり、40歳くらいまで最大値が保たれた後、減少し始めます。女性は50歳頃閉経期を迎えると骨量が急速に減少し、骨折を起す危険が増えます。

●予防方法
①食事 カルシウムをしっかり摂り、たんぱく質、魚介類やきのこ類などのビタミンD、納豆やブロッコリーなどのビタミンKなどを特に意識して摂りましょう。

②運動 骨への刺激や圧力が骨を丈夫にします。骨に重力をかける運動（ウォーキングやジョギング、階段昇降など）がお勧めです。

●骨密度検診の勧め
昨年度の市の骨密度検診では、20歳から40歳代の約2割に骨量減少が見られました。若くても油断はできません。検診を受けて自身の骨量を知るとともに生活習慣を見直していきましよう。

※市では20歳から70歳の女性を対象に骨密度検診を実施しています。希望者は成人保健係へ申し込んでください



地元就職しか考えていませんでした

山口さん—高校卒業後、地元への就職しか考えていませんでした。生活リズムを作りやすい製造業とあって、中でも大きな機械を使った食品の製造に興味を持ったことがきっかけです。

山本さん—私も何より地元就職を考えていました。専門学校では全く違うことを習ったのですが、地元でそれを生かせる就職先がなく、勤務形態が安定しているこの会社に就職しました。

暮らしやすい場所でした

山口さん—今のところ、「十日町市のここが魅力的」という強い気持ちは持っていません。しかし、住み慣れた場所であり暮らしやすいまちだと思っています。だから市外に出ようと思いませんでした。山本さん—私は、友達や親がいる環境が自分にとって大切だったので、地元でいたいと思っています。

今の仕事にやりがいがあります。だけでも製造もやりたいですね



協力企業

求人あり
■(株)ミートコン パニオン新潟工場

- ・食品製造
- ・十日町市高山
- ・従業員数164人
- ・☎757-3601

昭和49年に肉食卸業として設立されました。今では加工販売やレトルト食品製造も手がけ、全国に出荷しています。

叙勲おめでとうございます



瑞宝双光章
(消防功労)

根津 征吉さん(旭ヶ丘・68歳)

長年にわたり消防の危険業務に従事した功績が認められました。根津さんは、「職場では愛情を持って仲間と接し、人の命を守るためにチーム力を高めることを常に心がけました。打ち込める仕事に出会えて幸せでした」と話していました。

表彰おめでとうございます



関東管区警察局長表彰
(交通安全功労者章)

岡村 哲さん(高田町3・64歳)

34年間の長きにわたり、交通安全協会の組織づくりから始まり、現在までの継続的な活動に尽力されました。岡村さんは、「時代は急激に変化していますが、交通安全を呼びかける地道な活動は、これからも続けたいです」と話していました。

Jリーガーがチャンピオン、サッカー教室も

6月10日(月)～22日(出)：当間クロアチアピッチ

6月10日(月)から横浜Fマリノスが、6月16日(日)からFC東京が相次いでチャンピオンしました。元日本代表の中村俊輔選手(横浜Fマリノス)、石川直宏選手(FC東京)らが汗を流し、観客から声援を浴びていました。両チームともキャンプ最終日にはサッカー教室を開催し、参加した子どもたちは、めったにない機会に目を輝かせて楽しんでいました。



建立したての歌碑に見守られながらのにぎわい

6月8日(出)：つつじ原公園(伊達地内)

3回目となる、伊達つつじ原公園まつりですが、今年6月1日(出)の除幕式で74年ぶりに復活した鈴木陸軍大将の歌碑に見守られながらの開催でした。庭野辰雄さん(田中町東・73歳)は、「『つつじばら』という響きが懐かしくて来ました。地元の方のおもてなしの気持ちが行き届いていてまた来たいと思いました」と話しました。(📷金子又市さん)



早大生の思い描く松代地域の将来像

6月29日(出)：旧蒲生小学校

早稲田大学建築学科の学生たちが、実際に松代地域を訪れて見つけた課題と魅力を踏まえて考え出した「地域の将来像」を地域住民に提案しました。地域住民は学生ならではの視点に感心しつつも、生活している実際はこうである、といった様々な意見交換が行われ、双方にとって実りのある時間となりました。



節黒城の御姫様、おな～り～

6月9日(日)：節黒城跡展望台

今年の節黒城山開き祭り大名行列の御姫様役は登坂七菜子さん(岩瀬・6歳)。新緑の中、あでやかな着物姿が映え、見物に来た人々を魅了していました。また、今の展望台での大名行列は今回が最後となり、今秋中には展望台が改築され、節黒城の歴史に新たな1ページが刻まれます。



信濃川の魚をより身近に

6月23日(日)：宮中取水ダム



今年の4月20日(出)から宮中取水ダムの魚道観察室が一般公開され、見学ツアーが開催されました。ツアーの最後には今回初めて企画されたニジマスのつかみ取りも体験でき、子どもたちは服が濡れるのもかまわず、夢中でニジマスを捕まえていました。

消防団活動は日頃の練習が肝心

6月16日(日)：松之山グラウンド駐車場



十日町市消防団松之山方面隊の消防演習がありました。この日集まった消防団員は135人。統率のとれた行動で、迅速に演習を行い日頃の練習の成果を披露していました。

歯科医師会主催の障がい者歯科健診

6月4日(火)：なごみの家

鈴木歯科医院、二瓶歯科医院、和歯科医院の歯科医師により、96人が健診を受けました。健診は今年度で12回目。年々受診者の口腔衛生も向上し、健診をきっかけに歯科受診や歯みがきなどの取組みの成果が現れています。



10年に1度、大井田氏の子孫が集結

6月8日(出)・9日(日)：円通寺・大井田の郷公園

鎌倉時代の半ばころから中条・大井田地区を本拠に活躍した大井田氏の子孫(全国大井田同族会)の皆さんが、鎌倉幕府倒幕の挙兵から680年目にあたる今年、第5回全国大井田氏サミットを開催しました。関東や東北、遠くは四国から約35人が集まり、先祖供養法要や大井田氏発祥の地の石碑の除幕式を行いました。(関連のお知らせ19ページ)



第46回 十日町市美術展作品募集

部 門	作品規格 () 内は大きさ
第1部 日本画	額ぶち付きに限る (100号まで)
第2部 洋 画	油絵・水彩・パステルなど。額ぶち付きのこと (8号~100号)
第3部 版 画	額装。モノタイプ版・ドライマウント加工は不可 (長辺116cm以内)
第4部 現代美術	(常識の大きさを超えないこと)
第5部 彫 刻	(常識の大きさを超えないこと)
第6部 工 芸	染・織・焼物・つる・漆・革・竹・わら・紙工芸など (縦・横・高さとも180cm以内)
第7部 書 道	額装、枠張りまたは軸物表装 (仕上がり寸法=縦額は縦182cm以内・横76cm以内、横額は縦76cm以内・横152cm以内) ※釈文票は楷書ではっきりと記入すること。ペン書き・ワープロなど可。てん刻は不可
第8部 写 真	木製パネル張り。ヒートン取付額ぶち不可。(単写真は半切以上全紙まで。組写真は長辺103cm以内)

日10月19日(土)~22日(火)
 会市民体育館
 ●出品作品=同一部門1人2点以内 (ほかの公募展未出品作品に限る)、額装する場合はガラス不可
 ●出品料 一般=1点1,000円、高校生以下=1点500円
 ●作品搬入出 搬入:10月15日(火)正午~午後8時に会場持参 搬出:10月22日(火)午後4時30分~6時30分
 ●作品指導会=10月16日(水)午後5時30分~7時
 ●授賞=市展賞(賞金3万円)、奨励賞(同1万5,000円)、佳作賞(同5,000円)ほか
 ●審査員=佐々木かず子さん(日本画・洋画・版画)、堀川紀夫さん(現代美術・彫刻・工芸)、鈴木青雨さん(書道)、田沼武能さん(写真)
 ●募集要項=各公民館・情報館に配置、市ホームページに掲載
 問生涯学習課 (☎757-8918)



~お知らせ・ガイド~

催し・講座

松之山・中尾神社
夕涼みミニコンサート

國仲勝男さん(ギター)と小谷まゆみさん(歌)のコンサートです。

日7月15日(祝)午後3時~4時 30分※開場2時30分
会 中尾神社境内(中尾地内)
※荒天時は布川防雪管理センター

¥ 無料
問 地域おこし協力隊小野・米澤 (☎596-2805)

高校生のための
面接能力レベルアップ
セミナー・求人説明会

日7月16日(火)第1部:午前9時~第2部:午後1時30分

分
会 クロスステン
内 第1部:面接能力レベルアップセミナーII 面接技術向上のために専門の講師がロールプレイを通じて個別指導、第2部:求人説明会II 個々のブースで各企業が仕事内容を説明(主に十日町市・津南町の企業が参加)
¥ 無料
申・問 ハローワーク十日町学卒係 (☎757-2407)

世界文化遺産登録記念講演会
「世界が認めた日本の象徴・霊峰富士」

画像を見ながら、富士山の歴史や文化・芸術の視点からその魅力に迫ります。

日7月20日(土)午前10時~正午
¥ 無料
定 先着90人
講 阿部洋輔さん(元日本経済新聞総理事、博物館近代史グループ指導者)

他 同日正午まで館内で「岡田紅陽 市所蔵作品展」を開催
会・問 情報館 (☎750-5100)

キョロロ大昆虫展

7月20日(土)~9月16日(祝)

~「森の学校」キョロロにアートと昆虫が大集合!~

アートと昆虫を思う存分楽しめる夏の企画展です。世界中の生きた昆虫や標本を見ながら多様性や進化を学び、昆虫アートを眺めながら形の不思議さや色の美しさを体感してください。期間中は十日町市の昆虫博士、故 樋熊清治さんが集めた昆虫コレクションも展示します。さらに、日本のクワガタ・カブトムシにさわりまくりの夢空間“クワカブルーム”が今年もオープンします。



●開館時間=午前9時~午後5時※入館は4時30分まで
 休 毎週火曜日※8月は休館なし、7月17日(水)~19日(金)、9月18日(水)~19日(木)は臨時休館
 ¥500円、小・中・高生300円
 ※小学生未満無料
 ※7月20日(土)~28日(日)は市民無料
 ※越後妻有2013夏開催中(7月20日(土)~9月1日(日))は作品鑑賞パスポート提示で初回無料、2回目以降は半額
 会・問 「森の学校」キョロロ (☎595-8311)



広告掲載

完全予約制見学会開催します

7月20日(土)・21日(日)
 10:00~17:00
 @市内(越後田沢駅近く)

お問い合わせ 0120-550-208

〒949-8615 十日町市中条甲 921 番地 1 E-mail: flowerhome@k2.dion.ne.jp www.flower-h.com

ごゆっくりご覧いただきたいので
 1日限定15組とさせていただきます。
 越後の木をつかった
 心地の良い
 木の家ができあがります...



水和社会35周年舞踊公演
十日町市民館チャリティー

日7月21日(日)午前11時~
 会 市民会館
 問 三神流水和会 (☎757-0740)

二ツ屋蓮まつり餅つき大会

日7月21日(日)午前11時~午後1時30分
 会 蓮田(二ツ屋地内)
 ¥500円※中学生以下無料
 問 二千年蓮を育む里・二ツ屋集落の会(心の宿やすらぎ) (☎757-1547)

夏休み・ひとサポランチ会

ランチを食べながらの情報交換会。お子さん連れも大歓迎。プラーレルで遊べます。
 日7月25日(木)午前11時~午後1時
 会 おかあのか所 ZIKKA
 ¥大人700円、小学生500円、幼児300円
 定 30人
 日7月24日(水)
 問 市民活動ネットワークひとサポ (☎761-7444)

丸山 (☎090-244)

548-0507

まほろばの里 川治納涼祭

日7月28日(日)午後5時30分~7時30分
 内 屋台(そば、地元野菜、フランクフルトなど)・演奏・フラダンス・盆踊り
 会・問 特別養護老人ホームまほろばの里川治 (☎761-7333)

募集

大井田氏サミット
20年後に開封するタイムカプセルへのメッセージ募集中

「第5回全国大井田氏サミット(16ページトピックス参照)」で提案された「タイムカプセル」で、20年後のあなたへ「メッセージを送りませんか。内容は自由です。」
 ●募集期間 7月20日(土)~9月20日(金)
 申・問 専用紙(博物館・各公民館・本庁舎・各支所・本町分庁舎に配置)に記載し、博物館 (☎757-531)

広告掲載

第4回情報館まるごと体感フェア
エッセイコンテスト

「ふるさと」をテーマにしたエッセイを募集します。とおかまち随筆クラブが審査し、8月17日(土)~25日(日)開催の情報館まるごと体感フェアで受賞作品を発表します。
 対十日町市・津南町に住んでいる人

●作品内容「ふるさと」がテーマで、事実に基づき、自身が体験したことやそこから感じたこと

社名変更のお知らせ

株式会社 アシスト

(旧社名: 株式会社明和警備保障)



従業員募集

【警備事業】 ■2号業務=交通誘導警備・雑踏警備業務
 ■1号業務=施設警備業務・JR列車見張員
 【除雪事業】 ■機械除雪=市役所委託除雪・民地除雪
 【LED事業】 ■家庭用・業務用LED照明器具販売

連絡先/住所: 十日町市錦町2丁目10 TEL.025-752-7410
 担当/山田・福原

受講生募集
シーケンスの基礎(実技)コース
 リレーシーケンス、PLC制御の基礎を習得できます。
 日 8月7日(水)・8日(木)午前9時〜午後4時※2日間とも
 定 10人
 内 リレー配線・PLCプログラミングの実技講習
 ※ 7月26日(金)※申し込み多数の場合は抽選
 他 同日にTIG溶接基礎技能習得コースも開催します。詳しくは問い合わせください
 会・申・関 県立上越テクノスクール(☎025-545-2190)

● 提出様式 400字詰め原稿用紙2〜3枚。1行目は作品名、2行目は作者名を明記し、本文は4行目から書いてください。※パソコンなどでの作成も同様です
 ※ 8月5日(月)必着
 申 氏名・フリガナ・生年月日・性別・住所・連絡先電話番号を明記し、郵送(〒948-0072十日町市西本町2※封筒に「エッセイコンテスト作品在中」と明記)または持参で情報館
 情報館(☎750-5100)、とおかまち随筆クラブ小川(☎090-1604-1045)
自衛官募集
「平和」を仕事にしませんか
 ● 募集内容
 ① 一般曹候補生
 ② 自衛官候補生(男子)
 ③ 自衛官候補生(女子)
 ● 募集期間 ①・③ 8月1日(木)〜9月6日(金)、② 通年
 対 昭和62年4月2日〜平成8年4月1日生まれの人
 問 自衛隊新潟地方協力本部長 岡出張所(☎0258-33

中心市街地の空き店舗などの活用を支援します

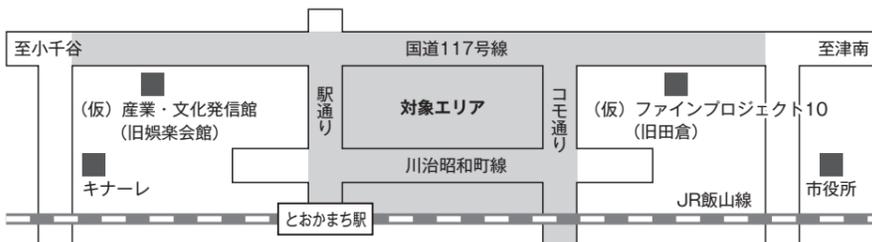
～活用促進事業のお知らせ～

中心市街地におけるまちの連続性を生み出し、新たな魅力向上を図るため、中心市街地内の空き店舗や空き家を活用して事業を行なう事業者に対して、その事業用設備などの設置経費の一部を助成します。



【対象エリア】 【エリアイメージ図】

市中心市街地活性化基本計画区域内の、都市計画による用途地域が「商業地域」および「近隣商業地域」



【制度説明】

- 助成対象者 = 平成26年3月31日までに、空き店舗などを活用し次の要件を満たす事業を開始する個人または団体および中小企業者。
- 助成対象事業の要件
 - (ア) 3親等内の血族および姻族を除く者との賃貸借契約に基づき空き店舗などを活用すること
 - (イ) 週4日以上営業し、かつ、午前11時までに営業を開始すること
 - (ウ) 中心市街地活性化基本計画区域内から移転することで、既存の店舗などが空き店舗としないこと(区域外からの移転などの場合は特に問わない)
 - (エ) 「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」に規定される業種でないこと
 - (オ) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」に規定される団体またはその構成員でないこと
- 空き店舗などの定義 = 次の全てに該当するテナント用店舗または家屋。

- (ア) 中心市街地活性化基本計画区域内、かつ、都市計画の用途地域が「商業地域」および「近隣商業地域」に所在していること
- (イ) 使用されなくなった日から3か月以上経過していること
- (ウ) 出入口が道路または歩道に面していること
- 助成対象経費 = 事業用設備などの設置に要する次の経費のうち、事業開始に最低限必要と認められるもの。
 - (ア) 工事費(工事請負費・直営工事費・デザイン設計委託費など)
 - (イ) 原材料費
 - (ウ) 設備購入費(設置経費含む)
- 助成率および助成上限額 = 対象経費の2分の1または100万円のいずれか少ない額
- 審査方法 = 書類審査および担当課ヒアリング
- 公募期間 = 12月27日(金)まで
- ☎ 中心市街地活性化推進室(☎757-3691)

10256)

福祉・健康

十日町病院 休診のお知らせ

7月26日(金)・29日(月)、耳鼻咽喉科を休診とします。ご理解とご協力をお願いします。
 ☎ 十日町病院経営課(☎757-5566)

中条病院 休診のお知らせ

7月29日(月)から8月3日(土)まで、皮膚科の外来診療を休診とします。ご理解とご協力をお願いします。
 ☎ 中条病院医事課(☎757-3018)

子育て

参加者募集 にぎわい子ども新聞の記者になろう

まちなかを取材して、手書きの新聞を作成します。新しい発見があるかもしれません。

募集

福祉・健康

子育て

スポーツ

くらし・相談

成田奈緒子さんの子育て勉強会

日 8月10日(土)午後1時30分〜4時※受付1時
 会 情報館
 定 500円※資料代含む
 定 先着80人
 内 「脳とこころの子育て」発達障害のある子どもの脳のしくみと子育て支援」
 講 成田奈緒子さん(文教大学教授)
 申・関 7月25日(木)事務局(☎752-4377)

申・関 所定の用紙(申込み先に配置)を市バレーボール協会・目黒(☎757-3862)
 「ボールあそびからはじめよう」などでしごジュニアキッズサッカーアカデミー

小中一貫教育 モデル中学校区合同発表会兼教職員全員研修会

小中一貫教育の取組み発表と教職員の全員研修です。一般の人でも参加できます。
 日 8月8日(木)午後1時30分〜4時45分
 会 市民会館
 内 ①下条・川西・中里・松代の各中学校区の発表、②パネルディスカッション
 申・関 7月31日(水)学校教育課(☎757-3336)

スポーツ

第11回妻有ショッピングセンター杯ソフトバレーボール大会

日 8月4日(日)午前8時30分〜
 会 総合体育館
 対 市内在住または在勤の人
 定 1チーム2、000円
 ● 種目 ①女性の部 ②男女混合の部
 申 7月26日(金)

くらし・相談

7月は学卒者求人確保強化月間 若い力を育て、企業のために!

幼児から社会人まで楽しくサッカーをしましょう。
 日 8月11日(日)午前9時30分〜11時30分※受付8時30分
 会 当間クロアチアピッチ
 対 幼児以上※男女問わず、保護者も参加できます
 定 無料
 講 若杉透さん(日本サッカー協会インストラクター)
 他 9月にも2回開催します
 申・関 7月20日(土)十日町市サッカー協会女子委員会(南若山総合保険サービス内☎750-5355)

元気なお年寄りを紹介し、健康の秘けつなどをうかがいます。

わがん あいご 和顔愛語

～はつらつ おばあちゃん～



布施 テイさん (松之山・89歳)

冬は編み物、夏は畑仕事をして過ごすテイさん。元気の秘けつはにこにこ体操。月に2回、地域の人たちと参加しているにこにこ会で行う体操を自宅でも毎日取り組んでいます。体操の効果を実感しながらも「地域の人に支えられてるからこんなに健康なんでしょうね」と元気に話していました。

我が家の

イクメン☆カジダン

我が家のイクメン☆カジダン募集中！家事育児に取り組んでいる写真と紹介文をお寄せください。申込み・問合せは企画政策課秘書広報係 ☎757-3112

「イクメン」とは育児を楽しんでいるメンズ(男性)、「カジダン」とは家事に積極的な男性のことです。そんな我が家自慢のイクメン・カジダンを紹介します。

わが家の

パパ・鈴木正志さん(幸川)



小さい頃から、私が仕事でいない朝や夜によくお世話をしてくれています。着替え、お風呂、寝る前に本を読んであげるなど、たくさん助けてもらい感謝しています。ありがとう(お母さんより)



わが家の

パパ・福崎裕一さん(田麦・37歳)

家で人気No.1のお父さん。絵本の読み聞かせは、お父さん流のアレンジが子どもに大好評。保育園の送迎や行事への参加など、4人の子育てにお父さんの協力は本当にありがたいです。(妻より)

あすのたね

「狭い範囲で勝負するのではなく、しっかりと評価してもらえたいという思いで制作しています」と、日本画への情熱を語る羽鳥さん。一度は制作から離れたましたが、子どもが通う中学校の文化祭への出品を機に、活動を再開しました。

自宅を改造し、創作活動をしながらギャラリー(土・日・月開館、有料)を営んでいます。ギャラリーには、羽鳥さんが描き続けている日本画が約30点展示されていて、中には、フランスで開催されている国際公募展ル・サロン展で入選された作品もあります。

「美人画は、情景とストーリー性を組み立て、それを自分の中でかみ砕いて構成します。一方で、童画に描かれている昭和の風景は、自身の体験を思い出しながら描いています。十日町の風景を描くのは、不便、ただど人情味があつて生き生きしていた、ひと昔前の時代を忘れてほしくないからです。」と、作品一つひとつに思いを込めて描きます。

活動を紹介したい団体を募集しています
ひとサポ ☎761-7444



「お客さんに、より楽しんでほしい」という気持ちから、館内の一室の壁一面に山野草を描きました。作品と相まって館内の雰囲気を醸し出します。



美人画だけでなく地方の童子や、十日町市の風景を描いた作品も展示しています。壁紙を自分で貼ったり、育てた山野草をいけたり、コーヒータイムも楽しめたりと、こだわりの空間を作っています。



自宅兼ギャラリーの2階で制作活動をする羽鳥さん。大きい作品になると3か月ほどかけて作成することもあります。ギャラリーを休館している冬季は、制作に没頭しますが、湿度調整が難しいです。



64

羽鳥絹世さん(路傍の花室)

世界を舞台に日本画を描き続けます

昨年からおープンし、今年4月にリニューアルした日本画ギャラリー「路傍の花室」。オーナー兼作家の羽鳥絹世さん(妻有町西3・63歳)の、独学で描いてきた羽鳥さんならではの数々の作品が展示されていて、たくさん飾られている季節ごとの山野草ともにお客さんを迎えます。

◆問合せ：羽鳥絹世 ☎757-8918

▼懐かしい昭和の写真を紹介している「昭和のおかまち」。今年度からは、紹介エリアを全市に広めて連載しています。今号で紹介している松代観音祭は、地区の堂に安置されている馬頭観世音の祭礼。江戸末期から、祭礼に合わせて開かれていた市(いち)(観音市)には、当時、近郷から数十軒の露店が集まり「柏崎のえんま市」と並ぶ県下の三大市の一つといわれるほどにぎわった。松代町史と伝えられています。宿駅の拠点。写真では、昭和の当時の名行列の沿道に多くの人々が集まり、賑わいを感じさせています。時代は変わり、今は二十余年の世田谷区との交流により、伝統ある祭りがにぎわいを呼んでいます。





ジュニア芸術祭

飛渡第一小学校

97



池田 来樹さん (2年)

たまごをうんだサケ



きばをもっている魚と、赤いのはたまごをかきました。おすがえさでつられそうになっています。ワカメがゆれているかんじをあらわしました。



池田 惟緒さん (3年)

夏の海



海の上と下をあらわしています。アザラシが元気よく泳ぎ、カモもいます。海の上は天気がよく、カモメが飛んでいて、船では漁師さんが魚をつっています。



橋本みいなさん (4年)

お店の中



モールで服の模様をつくりました。絵の中にある服を着たり、帽子をかぶったりしたいです。本当にこんなお店があるといいなと思います。



池田 起さん (6年)

いつもの風景



自分が好きな教室の場所を描きました。本の色を一冊ずつ変えたり、ぬいぐるみをていねいに描いたりして、本物と同じように描きました。



大津 双葉さん (6年)

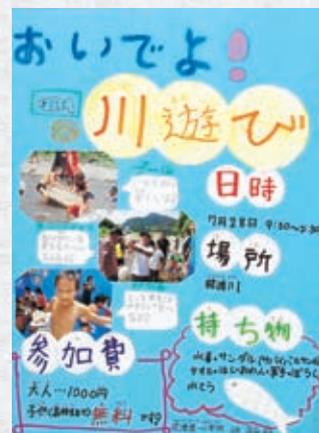
思い出の校舎



6年間通った校舎を描きました。奥行きを出すために、高さや色の塗り方に気をつけました。前の草を濃くして校舎が奥にある感じが出せました。



7月28日の川遊びのポスターを作りました。見出しを見やすくするために円を使い、明るい色で文字を書きました。これを見てたくさん来てほしいです。



おいでよ!! 川遊び
まなか 波形 真果さん (6年)

